

まちの日記帳



練習の成果を発表！

きさらぎ会「おさらい会」開催
やすらぎ慰問

3/20

4/12

きさらぎ会（河岸栄子代表）は、町総合文化センターで一年の練習の成果を発表する「おさらい会」を開催しました。きさらぎ会が誕生して以来、毎年行われている「おさらい会」は今回で18回目を迎えます。日本舞踊や大正琴など合計18演目が披露され、この日、会場に集まった約100人の観客からは一幕ごとに大きな拍手が送られました。

また12日には、やすらぎを慰問し、入所者や利用者に対し合計13演目を披露しました。

きさらぎ会の最年少で舞踊を始めて3ヵ月の菅野壘唯ちゃん(5歳)は、自分から始めたという日本舞踊を披露。「みんなの前で踊れて楽しかった。」と笑顔で話し、会場をひときわ沸かせました。



3/20
おさらい会

4/12
やすらぎ慰問



地域が一体となった協働による磯焼け対策 海づくりフォーラムを開催

3/27

藻場の再生による漁業生産の増大を目的に漁業者とレジャーダイバー等で構成する「美国・美しい海づくり協議会」（神哲治会長）は、総合文化センターで「海づくりフォーラム」を開催し、町内外から61人が参加しました。

昨年に続き2度目の開催となったこのフォーラムでは、中央水産試験場秋野研究員を講師として、北海道での磯焼け対策の実施状況の解説や効果についての講演のほか、町内での取組みについての意見交換が行われました。

また、地元小学生を対象に、顕微鏡を使っての「コンプの赤ちゃん観察会」が実施されるなど、地域が一体となったフォーラムとなりました。



交通安全の願いを込めて

街頭啓発

今年も新入学児童にお守り

4/13

4/6

積丹町商工会女性部（葛西幸子部長）は、美国郵便局前で交通安全街頭啓発を行いました。

あいにくの雨模様となりましたが、約30人の参加者は、交通事故撲滅の願いを一つに部員が手作りした「愛の鈴」とポケットティッシュ、積丹サブレ、交通安全チラシのセットをドライバーに手渡し、安全運転を呼びかけました。

また、入学式には女性部員が小学校を訪問し、新入児童のピカピカのランドセルに「お守り」を取り付け、期待に胸ふくらませる児童の交通安全を呼びかけました。



ふるさとの思い出話に花 札幌しゃこたん会総会

4/6

札幌市とその近郊に居住している積丹町出身者で構成される札幌しゃこたん会（大沢哲会長・会員102人）の総会がK K Rホテル札幌で開催され、会員46人と来賓4人の合計50人が出席しました。

大沢会長のあいさつに引き続き、松井町長が町の近況報告や日頃の町政運営に対する協力、多くのふるさと納税寄付金に対し謝意を述べました。

総会に引き続き積丹町ふるさと振興協議会山本会長の乾杯で始まった交流会では、ふるさと「積丹」の思い出話に花が咲き、楽しいひと時を過ごしました。



手作りおもちゃの寄贈に感謝 佐々木宏さん（美国町）「子どもたちのために」

4/9

佐々木宏さん（有佐々木建設社長）は、びくに保育所の入所式に合わせて手作りのおもちゃを寄贈しました。

寄贈したおもちゃはペットボトルのプラスチックキャップ2つを接着材とビニールテープで念入りに固定した円柱形のもの約1,500個などで、佐々木さんは「晩酌をしながら、たくさん出るフタで子どもたちのおもちゃができないかなと考えたのがきっかけ。3週間くらいかかった。」と話していました。

子どもたちは、玉入れをしてみたり転がしたりと思い思いの遊び方でみんなで仲良く楽しんでいました。



「骨盤エクササイズ」でダイエット！ 体育協会が運動教室を開催

3/17

積丹町体育協会（川井順應会長・構成5団体）は、健康運動指導士でレクリエーションコーディネーターの大菅貴広氏を講師に招き、健康事業「骨盤周辺エクササイズ」を開催しました。

体重を支えたり、バランスをとったりするために重要な部分である「骨盤」の筋力向上や柔軟性向上を図ることによる健康推進を目的として開催されたこの事業には、30代から60代までの18人が参加しました。

誰にでも簡単にできる運動で腰痛、肩こり、膝痛の改善が図られ、さらにダイエットにも効果があるということで近年女性の圧倒的な人気を集めている健康運動です。

参加者は、約2時間の運動に心地よい汗をかきました。

